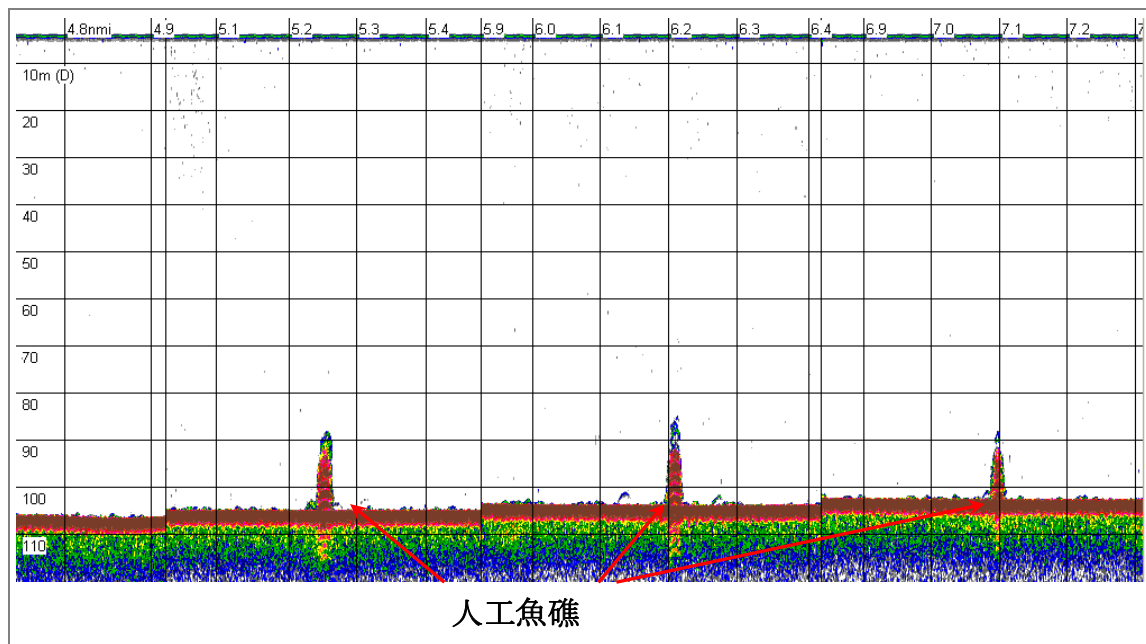


反応構成生物： マアジ (*Trachurus japonicus*)

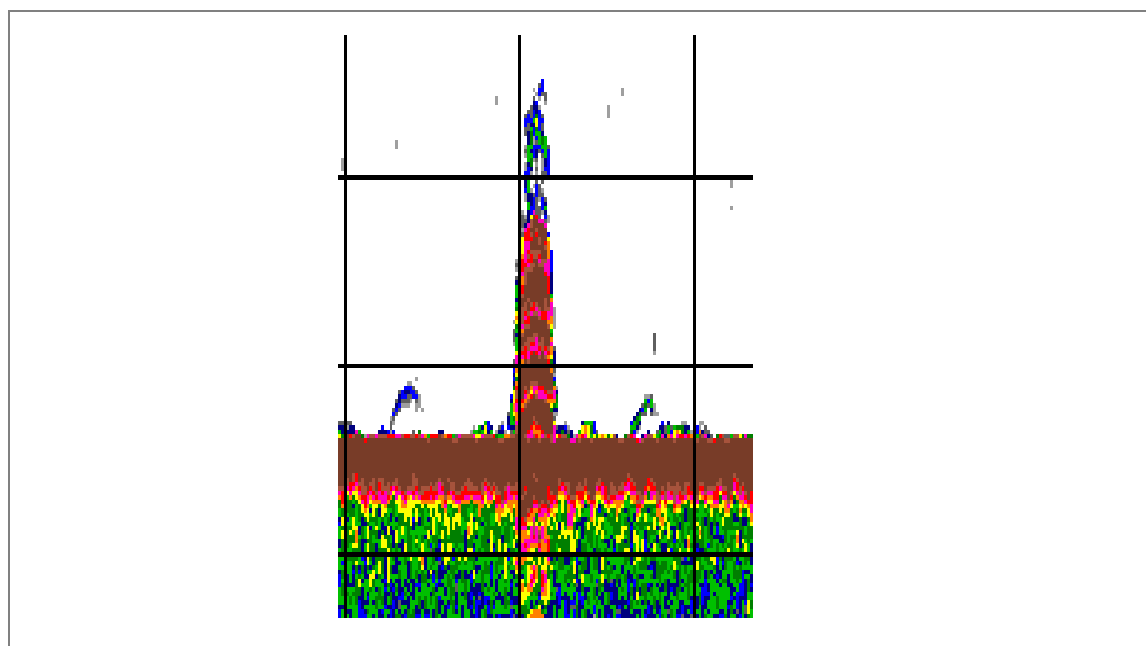
収録日時：2001年11月9日 (昼間 13:30 頃)

収録海域：日本海, 浜田沖

収録機種・周波数：FQ-70・50 kHz



Echogram-1 50 kHz



表示スケール： 縦 120 m / 横 2.1 n.miles

グリッド間隔： 縦 10 m / 横 0.1 n.miles

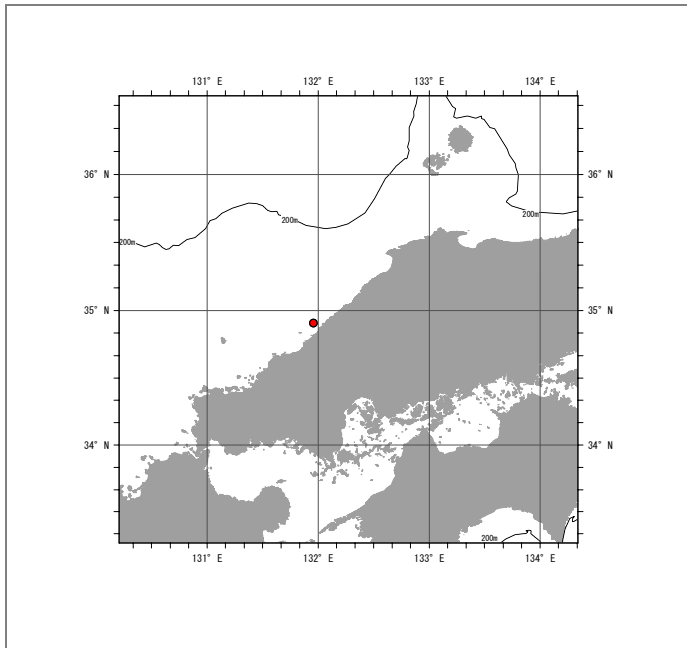
表示色・表示  $S_v$  範囲： EK500color ・ -70 ~ -30 dB

平均  $S_v$  値：  $-54.8 \pm 1.4$  (dB) , 魚群高さ：  $5.2 \pm 3.2$  (m;  $\pm$ s.d.)

魚群幅：  $14.4 \pm 8.5$  (m;  $\pm$ s.d.) , 魚群の中心深度：  $99.3 \pm 4.4$  (m;  $\pm$ s.d.)

データ提供：水産大学校 海洋生産管理学科 (中村武史), 島根県水産技術センター, 島根丸

収録海域詳細 ↓



反応構成生物写真・イラスト ↓



写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

手釣りによって反応をサンプリングし (30 分間の釣獲試験), マアジであることを確認したこと。

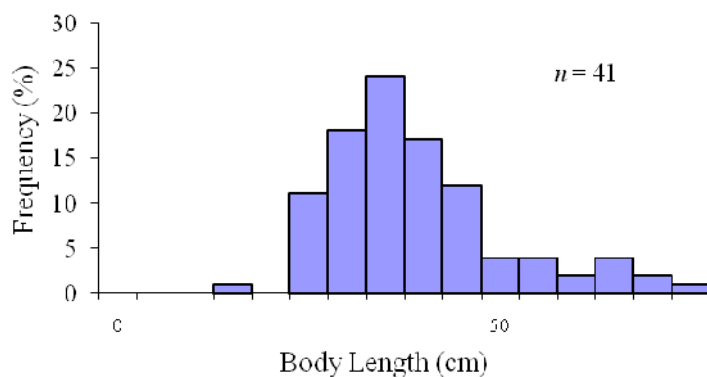
サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： マアジ 41 個体

釣針深度： 90~110 m

マアジの平均尾叉長： 41.4 cm

マアジの体長組成： 以下の通り



参考文献：

Nakamura T., Hamano A. 2009 Seasonal difference in the vertical distribution pattern of Japanese jack mackerel, *Trachurus japonicus*: changes according to age?. ICES Journal of Marine Science, 66(6): 1289-1295.